



荘内だより

荘内病院
臨床研修
通信 Vol. 8
2020. 3 発行

～2020 年度臨床研修プログラムについて～

臨床研修プログラム責任者 五十嵐 裕一



厚労省の省令改正に則り、2020 年度から当院の臨床研修プログラムも新しくなります。まず、内科、救急、地域医療に加え、外科・小児科・産婦人科・精神科、麻酔科が必修となります。地域医療研修は湯田川温泉リハビリテーション病院と鶴岡協立病院の 2 施設に担当していただくことになります。さらに、こころの医療センターの他に公立置賜総合病院と庄内余目病院が協力型臨床研修病院に加わっていただき、呼吸器科・形成外科など当院で研修できない科を中心に研修できるようになります。

新たに一般外来なるものも登場し、4 週間の必修となります。原則として初診患者の診療及び頻度の高い慢性疾患患者継続診療を含む研修を行うとなっています。総合診療、一般内科、一般外科、小児科、地域医療等が想定されています。特定の症候や疾病に偏ることのない紹介状のない新患が対象で、当院内科系外来は厳密に言うと対象外となってしまうため、どうしようか思案しているところです。

堅い話になってしまいましたが、このプログラムで4名の学生さんが当院にマッチし、この4月から研修を始めることになります。協力いただく各病院の皆様とは臨床研修においてもさらに連携を深めて参りたいと存じます。大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。

先輩の声

鶴岡市立荘内病院病理診断科 佐藤 みさお 先生
(2016 年 4 月～2018 年 3 月研修)

こんにちは。平成 30 年 3 月に当院にて初期研修を修了致しました医師 4 年目の佐藤みさおです。三科事業管理者、鈴木院長はじめ指導医の先生方からのご配慮をいただき、今年度より当院病理部に在籍しております。内ヶ崎先生、深瀬先生、病理部そして検査部の皆様によくしていただき、何とか1年が経過しようとしています。珍しい症例なども経験させていただき、医師として働き学べることの有り難さを常々感じています。また、新たに看護学校講義や Dr. 出前講座の機会もいただき、自分自身への気づきも大いにありました。相も変わらず手探り状態の日々ですが、この 1 年間は私にとって大変濃く貴重な時間でした。当院にて研修を修了させていただいたこと、今もなお、気にかけてくださる先生方や職員の皆様にあらためて感謝申し上げます。また、自分が研修していた当時とは一味異なる雰囲気 of 研修医のみんなには、いつも元気もらっています。ありがとう！



前から 2 列目、左から 2 番目が 佐藤みさお医師



初期研修を振り返って

みなさま2年間大変お世話になりました。自他共に認める大エース・佐藤がこの病院を去ります、胸中お察し致します。思えばこの2年多くの方々に生温かく支えて頂き、のびのびと学ぶことが出来ました。習得できたのは単なる知識・技術ではありません。私が最も知りたかった「鶴岡の今」に始まり、鶴岡医療の特徴と医療者の在り方、荘内病院の抱える問題、学生勧誘、ブロッガー、笑い、美味しいお酒 etc... 全部ここで学びました。私が居なくなっても、次々とキャラの濃い”Diversity” たちがあなた方を襲います。そして去る頃には極まった芸風で以てここの良さを語っていくことでしょう、「型にはまらず、多様性に満ちた人間に育てる病院だ」と。私が望むのはただ一つ、帰ってくるその日までもっと面白くいてください。私はたぶん最強に面白くなって帰ってきます。本当です。負けませんからね。



右端が 佐藤克成医師

研修医を紹介します！

研修医氏名 (基幹型/協力型・年次)

- ①出身大学 ②出身地
- ③自分を動物に例えるとその理由
- ④趣味・特技 ⑤これからの意気込み



ふかい あつし
深井 惇史 先生

(協力型1年次)

- ① 山形大 ②群馬県前橋市
- ③ 「犬」 言うことを聞くから
- ④ 釣り
- ⑤ 4ヶ月と短い間ですが、勉強はもちろん、鶴岡市を楽しんで帰りたいと思います。よろしくお願ひします。



わたなべ なおき
渡辺 直生 先生

(協力型1年次)

- ① 山形大 ②山形県鶴岡市
- ③ 「犬」 まっ直ぐ生きるって名前なので。
- ④ サッカー、ハンドボール
- ⑤ 協力型としては、非常に長い1年2ヶ月もの間、お世話になります。精一杯、頑張ります。



令和2年度採用臨床研修医マッチング結果を報告します!!

	募集定員	マッチ者数
2018年度 (平成31年度採用)	5	5
2019年度 (令和2年度採用)	5	4

令和2年度採用研修医は、募集定員5名に対して、**4名マッチング**しました。春から研修医室が賑やかになります。

長年のリクルート活動が実を結んでいます。ご協力いただきました方々に感謝いたします。

臨床研修委員会事務局

先輩の皆様のお便りをお待ちしています。また、連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

連絡先：鶴岡市立荘内病院 臨床研修委員会 臨床研修秘書 伊藤 江里子 電話0235-26-5111

Email: kenshu-secretary@shonai-hos.jp

